



ビレジサポート 会員ニュース

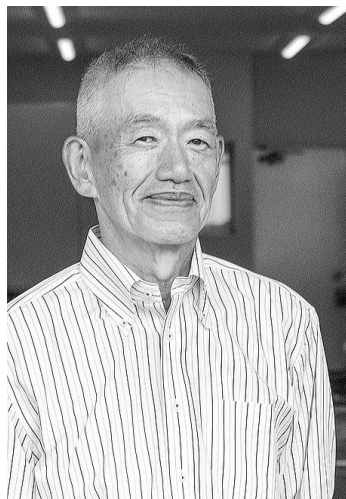
第17号 2022. 6. 20

発行： NPO法人 ビレジサポート
04-7106-5117

会員数：401名（2022年5月末現在）

理事長挨拶

松本 彰



NPO法人ビレジサポートも本年11月で創設から丸10年が経過します。本法人が順調に発展してきましたのも、会員の皆様方によるご支援・ご協力の賜物であり、改めて御礼申し上げます。

過日（5/28）の総会後に開催された理事会において新理事長に指名されました

松本と申します。大変、微力ではありますが、与えられた職務・役割に対し全力を尽くしますので、何卒、宜しくお願い申し上げます。

本法人の主な業務は、助け合い活動、剪定サービス、柏市から受託の緑道メンテ、三井不動産より受託の柏の葉キャンパス地区の環境整備などですが、柏ビレジ住民の皆様の日常生活のサポートや住みよい環境の維持に、これまで以上に力を入れて取り組む所存です。

ただ、当法人の協力員（サポート・スタッフ）の高齢化が進むことで、担い手の不足が現実化します。本法人の事業継続に向けた「協力員確保」は喫緊の課題であり、組織を挙げた対応が必要となります。今後、組織内にプロジェクトチームを立ち上げ、多くの皆様のご協力を得ながら、課題の解決に向けた具体的な方策を立案・実行してまいります。

なお、新型コロナウイルスの感染状況も油断できないレベルが続いています。Withコロナを念頭に、当面は、感染対策に十分留意しながらの活動を行います。

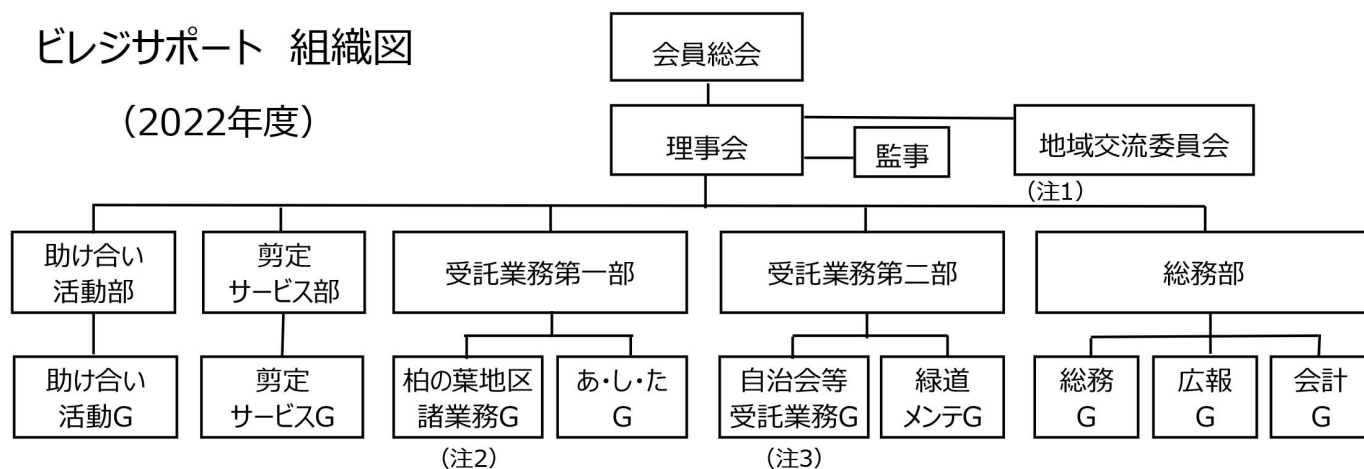
最後になりますが、住民や会員の皆様のご要望にしっかり応え、より充実した活動が展開出来るように、努力してまいります。



2022年度VS総会での討議

ビレジサポート 組織図

（2022年度）



（注1）地域交流委員会は、理事長が委員長を兼務し、理事の中から2～3名、協力員の中から2～3名の委員を選出する。

その活動は、「通いの場」活動に留まらず、IVY-LABO有効活用も含めたものを指向する。

（注2）柏の葉キャンパス地区におけるアクアテラス管理、水やり、清掃、剪定、パラソル開閉などを行う。

（注3）柏ビレジ内での活動で、自治会からの受託業務や、他法人からの受託業務などを行う。

VSホームページをご活用ください！

イベント案内、活動レポート、近隣のお役立ち情報など、フレッシュな情報の提供を心掛けています。 <https://villagesupport.jp>



2022年度 通常総会特集

2022年度通常総会が5月28日（土）午後、柏ビレジ自治会館ホールで開催されました。以下議案に沿って要点をご報告いたします。詳しい内容は事前に配布した総会資料をご参照下さい。

第1号議案 2021年度事業報告及び決算

1. 全体総括

受託業務、剪定サービス活動、「通いの場」体操教室など前年同様、着実に継続実施することが出来た。助け合い活動も、実施件数がコロナ以前の水準に近づいた。

- ・ 助け合い活動：前年度 352件 ⇒ 2021年度 787件
- ・ 剪定サービス：前年度 192件 ⇒ 2021年度 169件
- ・ 受託業務：三井不動産、柏市の業務を中心に堅調
- ・ 会員数：前年度末 386名 ⇒ 2021年度末 410名

2. 決算状況

経常収益は前年度比103%と堅調に推移し、財務基盤も安定している。

第2号議案 役員の選任

戸谷文治、森下弘詳、矢川一忠の各氏が理事を退任され、新たに、鈴木良治、明神知夫、三由貢延の各氏が理事に選任された。

第3号議案 定款の変更

通常総会の開催時期を「毎事業年度終了後3か月以内に開催する」とし、法、条例との整合性を図った。

報告事項 1. 及び2. 2022年度の活動方針、計画等

- ・ 助け合い活動による住民サポート
- ・ 剪定サービス活動による環境保全
- ・ 受託事業を通じた地域貢献
- ・ 柏市からの受託事業への取り組み
- ・ 地域交流を深める「イベント企画」「場の提供」
- ・ 事業継続に向けた「後継者確保」

報告事項 3. 2022年度の予算

2021年度比100.8%の経常収益と、財務の健全性維持を目指す。

報告事項 4. 2022年度の組織体制

受託業務部を受託業務第一部・第二部に改組し、「地域交流委員会」を新設して、地域の活性化に貢献する企画・運営を行う。

今年度の総会も、新型コロナウイルス感染対策のため、理事を中心とした少人数参加になりましたが、個人会員の78.6%から委任状が提出され、出席者と合わせると出席率は83.7%となり、会員の皆さまから厚いご支援を頂きました。

第1号議案 2021年度決算（事業会計）（単位 千円）				報告 2022年度の予算（単位 千円）	
貸借対照表（2022年3月31日）		活動計算書（2021年度年間）			
科目	金額	科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）		経常収益	
1. 流動資産		1. 流動負債		1. 受取会費	410
現金	36	未払金	314	2. 受取寄付金	30
預金	6,113	未払法人税等	143	3. 受取助成金	352
売掛金	1,106	未払消費税	447	4. 事業収入	9,838
前払い金	497	前受金	53	経常収益 合計	10,630
未収入金	2	預り金	1,746	経常費用	
		流動負債 計	2,703	1. 事業費	7,824
		2. 固定負債	0	2. 管理費	2,780
流動資産 計	7,754	負債 合計	2,703	経常費用 合計	10,604
		（正味財産の部）		当期経常増加額	26
2. 固定資産		前期繰越正味財産	1,082	法人税、住民税及び事業税	143
附属設備	1,314	当期正味財産増加額	▲117	当期正味財産増加額	▲117
		事業活動予備費積立金	2,700	前期繰越正味財産額	1,082
		事務所対応積立金	2,000	次期繰越正味財産額	965
固定資産 計	1,314	車両購入準備積立金	700		
		正味財産計	6,365		
資産 合計	9,068	負債及び正味財産合計	9,068		

科目	金額
受取会費	410
受取助成金	352
事業収入	9,955
助け合い事業	1,579
剪定サービス事業	4,087
受託事業	3,791
その他	498
収入 合計	10,717
事業費	7,907
管理費	2,298
費用 合計	10,205
税引前 当期正味財産増減額	512